



あけまして おめでとうございます。

今年も皆様の健康を、お手伝いさせていただきます。

新生児の皮膚

皮膚には2つの重要な働きがあります。1つは体の中の水分や熱を逃がさないことで、もう1つは外部からの刺激から体を守ることです。

新生児の皮膚は、上肢の皮膚の厚さの平均は、新生児で1.2mm、成人で2.1mmと約半分です。また、バリア機能においてもっとも重要な働きをしている角質層は、新生児で9~10 μ m、成人で9~15 μ mと新生児はやや薄く、早産児では皮膚の厚さは0.9mm、角質層の厚さは4~5 μ mしかなく、バリア機能が極端に悪いことがわかります。

新生児の皮膚トラブル

1か月健診で訪れた新生児の母親の7割が皮膚トラブルに関する心配ごとがあり、また、看護師の観察でも5割の新生児に、顔面の皮膚にトラブルを抱えていると感じています。

新生児から幼児期は、皮膚が薄く、皮脂分泌も少ないため、保湿機能が弱く乾燥しやすい状態です。そのため、構造的にも機能的にもバリア機能が弱い時期であり、脂漏性湿疹や乾燥肌、アトピー性皮膚炎が発症しやすい時期になります。

新生児のスキンケア

新生児および小児の皮膚を望ましい状態にするため、顔面や体も洗浄剤による洗浄と保湿のスキンケアを行い、継続することが重要であるといわれるようになりました。

<スキンケアのポイント>

- ・しっかりと洗浄剤を泡立て、擦らないように洗いましょう
- ・洗浄剤をしっかりと洗い流しましょう。
- ・水分の拭き取りは押さえ拭きで行いましょう。
- ・保湿のローションやクリームを塗りましょう。



保湿をして皮膚のバリア機能を保ち、トラブルを起こしにくい肌を保ってあげましょう。



文責：新生児集中ケア認定看護師